

平成24年度第2回理事会議事録

日時■平成24年6月2日(土曜日)
13:30～16:00
場所■拓殖大学文京キャンパス(茗荷谷)
A館第5会議室

出席者■山中, 松岡, 須永, 岡崎, 清水, 久保(光),
生田目, 山内, 酒井, 佐藤, 小野

委任状出席■浅沼, 山崎

1. 会長挨拶

山中会長から挨拶がなされた。
平成22年度第7回理事会の議事録が示され、承認された。

2. 平成24年度第1回理事会議事録の承認

平成24年度第1回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 平成23年度決算・監査報告

(國澤前本部事務局長(代)小野本部副事務局長)
小野本部副事務局長から平成23年度決算について説明がなされ、審議の後、承認がなされた。また学生会員の継続手続き率が低い問題に関して、対策が必要であるとの意見が出され、今後検討を進めることとした。また監査から指摘頂いた、選挙制度のあり方についても、選挙時期を含め、理事会で検討を進めることとした。

4. 平成24年度予算案(村上理事)

佐藤本部事務局長から平成24年度予算案について説明がなされ、審議の後、承認がなされた。名簿出版に関しては、個人情報保護の観点から、学会の活動として名簿を出版すべきかどうか、改めて検討することとした。また市販図書編集・出版に関しては、本年度中に今後の計画について明らかにすることで、合意がなされた。

5. 平成24年度春季研究発表大会について

(酒井大会実行委員長)

酒井大会実行委員長より、平成24年度春季研究発表大会について、参加予定人数、プログラム、シャトルバスの運行、グッドプレゼンテーション賞の運営について、説明がなされ、審議のち、承認がなされた。

6. 平成24年度秋季企画大会について

(山崎大会実行委員長(代)佐藤大会実行委員)

山崎大会実行委員長の代理として佐藤大会実行委員より、平成24年度秋季企画大会の内容について、主に、基調講演、パネルディスカッションの内容について、説明がなされ、審議の後、承認がなされた。

7. 作品集投稿規定と執筆要領について

(須永前作品集編集・出版委員長)

須永前作品集編集・出版委員長より、当初は論文集、作品集、特集号を一つにまとめた形で投稿規程を策定しようと進めていたが、掲載料、投稿料について議論が必要であり、また電子化のスケジュールの都合、6月20日までにまとめる必要があるため、作品集の投稿規程を独立した形でまとめ、ウェブ上で公開する予定であるとの説明がなされ、審議の後、承認がなされた。

8. 平成25年度春季研究発表大会について(山中会長)

山中会長より、来年度の春季研究発表大会の開催場所として、筑波大学が提案され、審議の後、承認がなされた。日程についても、6月21日、22日、23日の3日間で決定がなされた。

9. 第60回大会記念企画について(山中会長)

山中会長より、来年の大会が60回の記念大会となるため、秋季大会までに、企画案をまとめていきたいとの提案がなされ、承認がなされた。また企画案に関して、良い企画があれば、ご提案を頂きたいと依頼がなされた。

10. 『デザイン百科事典』編纂について

(松岡市販図書出版・編集委員会委員)

松岡市販図書出版・編集委員会委員より、出版社より「デザイン百科事典」の出版に関して提案があり、学会として取り組んでいきたいとの提案がなされ、承認がなされた。また議論の結果、デザイン8団体の連携も視野に入れて、進めていくこととした。

11. 会員の移動について(佐藤本部事務局長)

正会員13名(内外国人1名)、学生会員46名(内外国人9名)、退会12名、年間購読1件
年会費免除が申請され承認がなされた。また東日本大震災の被災者1名より年会費免除の申請があり、審議の後、承認がなされた。

【報告事項】

12. 学会各賞選考委員会について（松岡学会各賞担当理事）
松岡学会各賞担当理事より、宮崎清氏を委員長として、平成24年度学会各賞選考委員会が発足されたとの報告がなされた。また応募締切を7月31日とするとの報告がなされた。
13. 学会誌編集・出版委員会報告
（岡崎学会誌編集・出版委員会委員長）
岡崎学会誌編集・出版委員会委員長より、本日理事会前に開催された学会誌編集・出版委員会について報告がなされた。学会誌の電子化に伴い、投稿規程を早急にまとめること、また電子化に伴う、財政的影響などについて、議論を進めていきたいとの報告がなされた。
山中会長より、論文審査状況、作品審査状況、特集号編集状況について、毎回の理事会でぜひ報告頂きたいとの依頼がなされた。
14. IASDR2013 準備状況について
（小野本部副事務局長）
小野本部副事務局長より、IASDR2013の準備状況について、リーフレットに基づき説明がなされた。審査を今までの2段階から1段階にすること、登録締切を平成24年12月31日にすることなどについて報告がなされた。
15. 総会資料確認のお願い（小野本部副事務局長）
小野本部副事務局長より、総会資料案が提示され、確認の依頼がなされた。

記録：小野

平成24年度第3回理事会議事録

日時■平成24年6月22日（金曜日）

12:00～12:45

場所■札幌市立大学 サテライトキャンパス

出席者■山中、松岡、浅沼、池田、井上、伊原、岡崎、片岡、清水、國本、久保(雅)、久保(光)、黄、杉下、杉山、須永、高野、中嶋、野口、橋田、蓮見、細谷、三橋、森田、山内、山崎、酒井、五十嵐、佐藤、小野

委任状出席■浅沼、山崎

名誉会員■岩田、上原、庄子、野口、

委任状出席■青木(弘)、工藤、田村、寺内、永井、萩原、古屋、両角、
欠席者■青木(史)、國澤、生田目

1. 会長挨拶
山中会長から挨拶がなされた。
2. 名誉会員挨拶
ご出席頂いた、上原名誉会員、野口名誉会員、庄子晃子名誉会員より、挨拶がなされた。
3. 平成24年度第2回理事会議事録の承認
（小野本部副事務局長）
平成24年度第2回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

4. 平成24年度秋季企画大会について（山崎大会実行委員長）
11月17日（土）実践女子大学で開催される平成24年度秋季企画大会について、山崎実行委員長より、説明がなされた。基調講演、パネルディスカッションの内容について審議がなされた後、承認がなされた。
5. 平成25年度春季研究発表大会について
（五十嵐実行委員長）
平成25年6月21日、22日、23日に筑波大学で開催される平成25年度春季研究発表大会について五十嵐実行委員長より説明がなされ、審議の後、承認がなされた。
6. 会員の移動について（小野本部副事務局長）
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、[入会（正会員13名、学生会員4名（内外国人1名）、年間購読1件）、休会1名、退会（正会員4名）]が承認された。
7. IASDR2013について（杉山担当理事）
杉山担当理事より、6月6日付で学術会議より、共同開催が正式に決定されたとの連絡があったとの報告がなされた。今後は、本格的に準備を進めていきたいとの報告がなされた。
8. 論文審査状況について（久保論文審査委員会委員長）
久保論文審査委員会委員長より、平成23年度および平成24年度の論文審査状況について、また59巻1号の掲載論文の概要について報告がなされた。

本年度中に、J-Stage の論文の審査システムの利用申請を行い、できるだけ早急に審査の電子化を進めていきたいとの報告がなされた。

9. 作品審査状況について（清水作品審査委員会委員長）
清水作品審査委員長より、作品審査スケジュールについて説明がなされた。
具体的には、8月15日応募締切、第一ステップ締切9月20日、最終ステップ締切11月30日を進める予定であるとの報告がなされた。また学会誌の電子化に伴い、作品集の投稿規程、執筆要領、投稿までの手順をホームページ上に掲載する必要があるため、早急にまとめ掲載する予定であるとの報告がなされた。

10. 学会誌編集・出版委員会報告
（岡崎学会誌編集・出版委員会委員長）
岡崎学会誌編集・出版委員会委員長より、現在、学会誌の電子化に伴う著作権の取り扱いについて、非営利団体 Arts and Law との相談を検討しているとの報告がなされた。また特集号、学会誌の進捗状況について報告がなされた。

11. 支部委員会報告（浅沼支部企画委員会委員長）
浅沼支部企画委員会委員長より、本年度の活動計画について報告がなされた。昨年度の活動をベースに新しい活動を企画して行きたいとの報告がなされた。

12. 芸術学関連学会連合シンポジウムについて（清水担当理事）
現在、来年のシンポジウムのテーマについて募集中であり、会員の方から来年度のシンポジウムのテーマについて応募頂きたいとの報告がなされた。

13. 芸術表現学会設立について（山中会長）
山中会長より、6月23日開催される芸術表現学会の設立総会に対して、お祝いの言葉をお送りする予定であるとの報告がなされた。

14. 学会のホームページのニュースについて（山中会長）
山中会長より、学会のホームページのニュースを、自動的に Facebook に投稿できるシステムを導入したとの報告がなされた。今後も積極的に情報発信を行っていききたいとの報告がなされた。

15. 学会各賞推薦について（松岡学会各賞選考委員会担当）
松岡学会各賞選考委員会担当より、本年度も宮崎清委員長の下、選考を進めるとの報告がなされた。また推薦の締切

が7月末であるため、会員から多くの推薦願いたいとの要請がなされた。

16. 名古屋市国際デザインセンター 20 周年事業について
（國本理事）
名古屋市国際デザインセンター 20 周年事業として、現在、1月にデザインフォーラムを企画しているとの報告がなされ、日本デザイン学会との共催については第四回の理事会で審議することとした。

17. 平成 24 年度春季発表大会の発表数について
（細谷春季研究発表大会概要集編集委員会委員長）
細谷春季研究発表大会概要集編集委員会委員長より、平成 24 年度春季研究発表大会の発表数について、口頭発表 202 件、ポスター発表 94 件、合計 296 件であるとの報告がなされた。

記録：小野

平成 24 年度第 4 回理事会議事録

日時■平成 24 年 10 月 13 日（金曜日）

14：00～17：00

場所■拓殖大学 文京キャンパス（茗荷谷）

A 館第 5 会議室

出席者■山中、松岡、須永、浅沼、岡崎、片岡、清水、

久保（光）、山崎、佐藤、八馬、

委任状出席■生田目、小野

1. 会長挨拶
山中会長から挨拶がなされた。
2. 平成 24 年度第 3 回理事会議事録の承認（佐藤本部事務局長）
佐藤本部事務局長より平成 24 年度第 3 回理事会の議事録（案）が提示され、承認された。

【審議事項】

3. 平成 24 年度学会各賞について（松岡担当理事）
松岡担当理事より、配付資料に基づき、学会各賞選考の経過および結果の報告がなされた。各受賞者には賞状および記念品を次回秋季企画大会において贈呈し、研究奨励賞は春季大会に記念講演を行っていただく旨が説明された。また、作品賞の審査について、論文におけるプロセスや方法論の記述が十分でないことと選考されないことが報告された。

4. 名誉会員追加について（山中会長）
山中会長より、本年度第2回理事会において議論した名誉会員候補者について、理事および副会長を長年務められてきた黒川威人氏が昨年3月に退職されていたことが判明したため、あらためて本年度の名誉会員に推薦することが提案された。氏の経歴を踏まえて審議がなされ、承認された。本件については秋季企画大会において報告および授与式を行うことを検討することとなった。また、来年度以降は候補者の所属などの確認をより緻密に行う必要があることが示された。
5. 平成24年度秋季企画大会について（山崎担当理事）
山崎担当理事より、配付資料に基づき、11月17日に開催される秋季企画大会に関する状況が説明され、順調に進行していることが報告された。学生プロポジションについて、締切（10/19）前であるが若干登録数が少ない状況であるため、理事を含めた関係者に協力が要請された。また、山中会長より名誉会員授与（審議事項4）に関する情報をプログラムに追加するよう指示があった。
6. 会員名簿について（佐藤本部事務局長）
佐藤本部事務局長より、会員名簿における個人情報の管理に関する昨今の社会情勢、および、一般社団法人に移行した5学会への聞き取り調査に基づき、会員名簿の作成は行わないとの事務局案が提示された。審議の結果、今年度は会員名簿を作成せず、不都合が生じるようであれば別の方法を模索することとなり、本件を来年度の総会で報告することとなった。
7. 学生会員の投稿規定の見直しについて（須永副会長）
須永副会長より、「学生会員」が作品集および論文集に投稿可能になったことから、投稿規定を変更する必要があるとの指摘があった。これを受け、投稿規定における投稿資格を「正会員および名誉会員および学生会員」に変更することで承認された。規約の変更は各委員会が行い、次回総会において報告することとなった。なお、賛助会員が投稿資格を持たないことについては、別の機会に議論することとなった。
8. 論文投稿審査システム・審査通信費について
(久保論文審査委員長)
久保論文審査委員長より、配付資料に基づき、J-Stageを利用した論文投稿および審査の電子化について報告がなされた。

投稿時に徴収している審査通信費（一律5,000円）の現状について解説がなされ、今回の電子化を機に廃止することが提案された。J-Stageの有料化の可能性、審査に関わる経費を投稿者から個別に徴収することの是非、年会費または掲載料によりカバーすることの是非、将来的に別刷りによる収入がなくなること、審査をボランティアで行うことの是非などを含めて審議された。その結果、審査経費は学会経費と考えるとともに、投稿時に徴収するのではなく「掲載料」とする方針に基づいて、論文関連の経費の試算を詳細に行うことで検討を進めることとなった。なお、作品集についてもその検討結果を参考に、別途審議することとなった。

論文の投稿総件数が増加しており、そのことを会員にお知らせするため、投稿数に対する採択数の割合などの情報の公開を検討することとなった。また、和文誌と英文誌は分離独立させる方向で検討を続け、優秀和文論文の英文化の推進も検討を続けることとなった。

9. 電子化のロードマップについて（岡崎編集出版委員長）
岡崎編集出版委員長より、出版物の電子化に関するロードマップについて、現状が報告された。来年の総会で方針を確認できるように検討を進めるよう、会長から指示があった。
10. 会員の移動について（佐藤本部事務局長）
事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会[正会員18名(内海外会員3名)、学生会員14名(内海外会員5名)]、退会[正会員8名、賛助会員1件]が承認された。
11. その他
特になし。

【審議事項】

12. IASDR2013 準備状況について
(古屋担当理事(代)山中会長)
山中会長より、配付資料に基づき、IASDR2013の概要および準備状況に関する報告がなされた。オーガナイズドセッションや口頭発表の応募に関して、秋季企画大会において告知するとともに、ウェブ上に情報を掲載することが示された。
13. 著作権について（岡崎編集出版委員長）
岡崎編集出版委員長より、出版物の電子化に伴う著作権の

扱いについて、来年度中に整理するよう検討を進めていることが報告された。

14. 作品審査進捗状況について（清水作品審査委員長）

清水作品審査委員長より、配布資料に基づき、本年度の作品審査の進捗状況の報告がなされた。スケジュール通りに進行していることが示された。

15. 研究推進委員会報告（須永研究推進委員長）

須永研究推進委員長より、配布資料に基づき、部会・研究部会へのアンケートに関する経過報告がなされた。研究部会には学会員以外のメンバーが含まれている実態があるため、部会・研究部会に関する規定の見直しについて、学会の活性化、運営費、活動報告などを踏まえた議論を要することが示された。アンケートの集計を行った後に、次回理事会において審議することとなった。

16. 編集出版委員会報告（岡崎編集出版委員長）

岡崎編集出版委員長より、特集号に関する出版の状況、取り上げるテーマ、今後のスケジュールについて報告がなされた。山中会長より、電子化に伴う特集号の位置付けを示すロードマップ(審議事項9)を検討することが要請された。また、電子化に伴う著作権の取扱い(報告事項13)についても併せて議論することが示された。

17. 来年度概要集投稿システムについて

(細谷概要集編集委員長(代) 佐藤本部事務局長)
細谷概要集編集委員長の代理として佐藤本部事務局長より、本年度春季大会において採用した概要集投稿システムに関するトラブルの報告がなされた。来年度は修正して継続使用するのか、他のシステムに移行するのか、概要集編集委員会にて検討を進めており、次回理事会にて審議することが示された。

18. 予算の執行状況について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、配布資料に基づき、現時点における予算執行状況について報告がなされた。山中会長より、各委員長は委員会活動における判断材料にするよう要請があった。

19. DTM 部会・第2支部共催デザイン塾報告について

(松岡主査)

松岡主査より、配布資料に基づき、第2支部の活動として8月1日に開催されたシンポジウムの報告がなされた。

20. デザインシンポジウムのご案内（松岡副会長）

松岡副会長より、デザインシンポジウムの案内がなされた。本年度は10月16日・17日に京都大学において、建築学会が幹事学会となり開催されることが示された。

21. 横幹連合シンポジウムのご案内（松岡副会長）

松岡副会長より、配布資料に基づき、横幹連合からのアンケートに対する回答(案)、および、11月1日・2日に開催される総合シンポジウムにおけるデザイン学会の案内(案)が示された。意見等があれば伺いたいとのこと。

22. 「Japan Brand Design Competition キッズデザインを商品化する」の後援について（山中会長）

山中会長より、JIDAの60周年記念事業の中で行われるコンペについて説明がなされ、それに対してデザイン学会として協賛することと、会員に向けて応募のアナウンスをすることが報告された。なお、費用はかからない。

23. その他

山中会長より、後援依頼や協賛依頼はデザイン学会として積極的に取り組んでいくことが示され、広報委員会に協力が要請された。

記録：八馬

平成24年度第5回理事会議事録

日時■平成24年11月17日(土曜日)

12:00～12:45

場所■実践女子大学

出席者■山中, 松岡, 須永, 青木(史), 浅沼, 五十嵐, 池田, 井上, 井原, 片岡, 清水, 工藤, 國本, 久保(雅), 黄, 杉下, 高野, 中嶋, 野口, 萩原, 橋田, 古屋, 細谷, 三橋, 両角, 山内, 山崎, 塚原, 小山, 佐藤, 小野, 八馬,

委任状出席■青木(弘), 岡崎, 國澤, 久保(光), 寺内, 田村, 永井, 生田目, 蓮見, 森田

名誉会員■黒川, 君島, 望月, 上原

1. 会長挨拶

山中会長から挨拶がなされた。

2. 名誉会員挨拶
ご出席頂いた、黒川名誉会員、君島名誉会員、上原名誉会員、望月名誉会員より、挨拶がなされた。
3. 平成 24 年度第 4 回理事会議事録の承認
(八馬本部事務局幹事)
平成 24 年度第 4 回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

4. 平成 25 年度春季研究発表大会概要集投稿システムについて(細谷概要集編集委員長)
平成 25 年度春季研究発表大会の概要集投稿システムについて、英語専用のサイトを設置することも検討したが、トラブルも明確であり、別に設けることによりコストも生じるため、平成 25 年度春季研究発表大会では、既存のシステムで対応したいとの案が提案され、審議の後、承認がなされた。
5. 学会広報およびパンフレット作成について
(山中会長、山崎広報委員長)
新規会員獲得のために、学会の活動を紹介するパンフレットを作成したいとの案が示され、審議の後、承認がなされた。また IASDR での配布も考慮に入れ、英語、日本語併記で作成することとした。
6. 会員の移動について(小野本部副事務局長)
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、[入会(正会員 2 名(内外国人 1 名)、学生会員 6 名(内外国人 4 名)]が承認された。

【報告事項】

7. 平成 25 年度春季研究発表大会について
(五十嵐春季大会実行委員長)
五十嵐実行委員長より平成 25 年度春季研究発表大会について、日時を 6 月 21 日～23 日とし、テーマを仮)デザイン学とデザインとすること、また筑波大学、筑波技術大学、筑波学院大学の会員を中心に実行委員会を設置することなどについて報告がなされた。
8. 学会誌出版状況と著作権について
(岡崎編集出版委員長(代)工藤委員)
岡崎編集出版委員長の代理として工藤委員より、著作権に関する規約について、現在、専門家の先生に相談しながら

検討を進めているとの報告がなされた。

9. 作品審査について(清水作品審査委員長)
清水作品審査委員長より、作品審査の進捗状況について報告がなされた。第一次審査では、応募 23 作品のうち、16 作品を条件付採択とし、審査結果を 10 月 31 日に通知し、現在は、二次審査のための原稿の準備を投稿者が行っている段階であるとの報告がなされた。
10. 論文審査委員会報告
(久保(光)論文審査委員長(代)小山委員)
久保(光)論文審査委員長の代理として小山委員より、2011 年度、2012 年度の審査状況について報告がなされた。投稿件数が年々増えてきており、今後は、採択数と掲載までの期間のバランスを考慮する必要、また査読の国際化を行う必要があるとの報告がなされた。
11. IASDR2013 準備状況について(古屋担当理事)
古屋担当理事より、IASDR2013 の準備状況について報告がなされた。皇室のご臨席の時間が変更となったため、現在スケジュールを調整中であるとの報告がなされた。またアブストラクトの締め切りが 12 月 31 日であり、多くの会員に登録して頂きたいとの依頼がなされた。
12. 芸術学関連学会連合シンポジウム案について
(清水担当理事)
清水担当理事より、芸術学関連学会連合シンポジウム案について、日本デザイン学会の後藤会員の提案「芸術と科学～分化から統合の時代へ」を芸術学関連学会連合事務局に提案したとの報告がなされた。現在は、募集期間が延長され、複数の候補案から選ばれる予定であるとの報告がなされた。
13. 第 1 支部報告(両角第 1 支部長)
両角第一支部長より、二年に一度開催される第 1 支部支部大会を、平成 25 年 9 月 7 日(土)東北工業大学にて開催予定であるとの報告がなされた。
14. デザイン百科事典について(松岡市販図書企画・編集委員)
松岡市販図書企画・編集委員より、平成 25 年 1 月末頃までにデザイン百科事典の編集委員会を設置し作業を進めていきたいとの報告がなされた。また希望があれば、連絡頂きたいとの依頼がなされた。



住所変更はお済みですか？

15. アジアネットワーク・ビヨンド・デザイン (ANBD)
について (松岡副会長)
松岡副会長より、12月18日～24日、横浜赤レンガ1号館で開催されるアジアネットワークビヨンドデザインについて、告知がなされた。
16. 第3支部報告 (國本第3支部長)
國本第3支部長より、第3支部支部大会を平成25年3月17日(日)に開催する予定であるとの報告がなされた。
17. 第4支部報告 (三橋第4支部長)
三橋第4支部長より、第4支部支部大会を平成25年2月2日(土)に、京都工芸繊維大学にて開催する予定であるとの報告がなされた。
18. 春季研究発表大会における意匠学会との連携について
(黒川名誉会員)
黒川名誉会員より、平成25年度春季研究発表大会は日本デザイン学会60周年の記念大会であるため、意匠学会と連携をぜひ検討して欲しいとの依頼がなされた。

記録：小野

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAX または

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届」と書き添えて、

事務局までご連絡下さい。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdf にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

献本御礼

◆研究報告

研究報告, No. 7, 2012, 長野県工業技術総合センター
研究報告, 第 12 号, 2012, 北海道立工業技術センター

◆機関誌

東京造形大学・専門学校桑沢デザイン研究所学園広報誌,
Art&Design for Life Creative Spiral, vol.3, 2013
公益財団法人福井観光コンベンションビューロー, Fukui
Convention Express, vol.18, 2013
財団法人岐阜観光コンベンション協会, あんびしゃす,
vol.48, 2013
社団法人つくば観光コンベンション協会, 観光コンベンション
ニュースつくば, vol.9, 2013
公益財団法人広島観光コンベンションビューロー, ひろしま観
光コンベンション, vol.89, 2013
財団法人富山コンベンションビューロー, とやま夢大陸,
vol.91, 2013

募集案内

第7回雪のデザイン賞の公募

六角形を基本とした精緻で清らかな雪の結晶。それは自然が造る最も美しいものの一つといえるでしょう。

加賀市出身の「雪博士」中谷宇吉郎(1900～62)は、世界で初めて人工雪を作ることに成功し、「雪は天から送られた手紙である」と言いました。

そんな雪を、暮らしの中にデザインしてみませんか。

加賀市による「雪」と「氷」をテーマにしたデザイン作品の第7回公募(コンペ)を実施します。

【応募受付】2013年1月1日(火)～2013年4月30日(火)(必着)

【審査】2013年6月 一次審査、9月 最終審査

【入選作品展】2013年10月31日(木)～2014年2月11日(火)
(会場 雪の科学館 又は 加賀市内の公共施設)

【表彰式】2013年11月2日(土)(予定)

【作品返却】2014年2月下旬(移動展開催の場合は変更することがあります。)

■募集内容

①募集テーマ

雪や氷のさまざまな形や現象をモチーフにした未発表のオリジナル作品。②募集分野 小物、工芸品、ポスター、オブジェ、

映像など搬送可能な 現物作品。ただし写真や絵画だけのものや食品、既に市場に流通している商品は除きます。

③作品のサイズ

立体固形物の場合は、縦・横・高さのサイズがそれぞれ50cm以内。パネル状のものや衣類などの場合は、一辺が150cm以内。ただし折りたたんで展示してもよい場合は、折りたたんだ状態で一辺が150cm以内。いずれの場合も重量は10kg以内で、運搬や展示に耐えうる強度のものとなります。

④応募資格

プロ・アマを問わずどなたでも。グループや企業での応募もできます。⑤応募点数 応募作品は3点(組)まで。

■お問い合わせ・出品申込先

中谷宇吉郎 雪の科学館 〒922-0411 石川県加賀市潮津町イ-106 電話 0761-75-3323 FAX 0761-75-8088 Eメール yuki-mus@angel.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.kagashi-ss.co.jp/yuki-mus/>

MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2013

主催：MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 実行委員会

委員長：水野誠一／委員：石井幹子、榮久庵憲司、向井周太郎、富澤龍一

特別協賛：三菱化学株式会社

協力：株式会社三菱ケミカルホールディングス

「MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD」は未来の一流デザイナーを目指す学生たちの“卒業制作”を対象とするアワードです。学生時代の集大成であり、プロへの第一歩でもある“卒業制作”の表彰を通じ、次代を担う逸材の発掘と、デザイナーの卵たちの新鮮な感性と可能性を世に広める機会の創出に努めています。

当アワードはデザイナーの育成支援とデザイン界の振興に寄与していくことを目的に組織した実行委員会により企画されたものです。

高等学校卒業後、日本国内の2年制以上のデザイン関連専門学校、大学、または大学院修士課程で修学し、2013年3月に卒業する学生の卒業制作および修士修了制作。また、高等専門学校生の卒業制作も対象とします。

プロダクト、グラフィック、ファッション、マルチメディア、パッケージ、デザイン研究などのデザイン全般。

1 審査基準

独創性、デザイン性、機能性、実現性・経済性、社会への貢献

2 審査員

審査員長水野 誠一（ソーシャル・プロデューサー）
 審査員石井幹子（照明デザイナー）
 榮久庵 憲司（インダストリアルデザイナー）
 向井周太郎（武蔵野美術大学名誉教授、デザイン研究者）
 柏木博（武蔵野美術大学教授、デザイン評論家）
 河原敏文（プロデューサー、ディレクター、CG アーティスト）
 坂井直樹（慶應義塾大学 SFC 教授、コンセプター）
 都築響一（編集者）
 日比野克彦（アーティスト）
 茂木健一郎（脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所
 シニアリサーチャー）
 特別審査員富澤 龍一（株式会社三菱ケミカルホールディング
 ス特別顧問、三菱化学株式会社特別顧問）

3 審査方法

上記審査員により、応募書類による一次審査と、一次審査通過
 作品を対象とした、プレゼンテーションパネルおよび実物また
 は模型による最終審査を行います。

◆一次審査および最終審査の結果は、それぞれ応募者全員に文
 書もしくは E-mail で通知します。

大賞（1 点）賞牌と賞金 100 万円
 佳作（2 点）賞牌と賞金 30 万円
 三菱化学賞（1 点）賞牌と賞金 30 万円

審査員特別賞（10 点）賞牌

応募開始 2013 年 1 月 25 日

応募締切 2013 年 5 月 31 日

審査 2013 年 6 月－9 月

受賞作品発表 2013 年 10 月

授賞式・受賞作品展 2013 年 11 月、都内で開催

◆審査以降の日程は予定です。

◆全ての受賞者について、授賞式に出席する義務があるものと
 します。

1 一次審査

原則として、ウェブサイト上の「応募フォーム」からエントリー
 してください。

◆1 応募者（あるいは 1 グループ）につき複数応募も可能です。
 ただし、応募作品 1 点ごとにエントリーしてください。

MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD
 事務局 / 担当：大塚，小川，星野

<http://www.m-kagaku.co.jp/mcjda/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-18-3

TEL：03-5575-3226（受付は祝日を除く月一金の 10－18 時）

FAX：03-5575-3222 E-mail：info@mcjda.jp

選考条件

出版社、デザイナー、印刷会社、製本会社の協力の下で制作さ
 れた、造本技術・装幀デザインが優秀な本で、特に次の条件を
 備えているものとします。

・造本目的と実用性との調和がとれており、美しく、かつ本と
 しての機能を発揮しているもの。

・編集技術ならびに表紙、カバー、本文デザインが創造性に富み、
 将来に示唆を与えると認められるもの。

・印刷・製本技術がとくに優れているもの。

・材料の選択がとくに優れているもの。

作品募集要項

出品料：1 点当り 5,000 円

出品作品：2012（平成 24）年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに
 発行された書籍

募集期間：2013（平成 25）年 2 月 1 日（金）～4 月 1 日（月）

出品部門：6 部門

1. 文学・文芸（エッセイ）
2. 芸術書
3. 児童書・絵本
4. 専門書（人文社会科学・自然科学書等）
5. 語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史
6. 生活実用書・文庫・新書・双書・コミック・その他

※ 外国語版は内容により各部門へ出品

出品資格：出品書籍の制作に関わった者

審査会：2013 年 4 月下旬

申込先：〒100-0051 東京都千代田区神田神保町 3-12-3
 神保町スリービル 8F

出版文化産業振興財団（JPIC）内

造本装幀コンクール事務局

TEL. 03（5211）7282 FAX. 03（5211）7285

搬入先：〒162-0828 東京都新宿区袋町 6 番地

日本出版会館 2F 日本書籍出版協会事務局

TEL. 03（3268）1303 FAX. 03（3268）1196

お問い合わせ先：（財）出版文化産業振興財団（JPIC）内 造
 本装幀コンクール事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-12-3 TEL. 03
 （5211）7282 FAX. 03（5211）7285

E-mail: info@jpic.or.jp

催し物

東京国立博物館 140 周年

特別展「飛騨の円空—千光寺とその周辺の足跡—」

- ◆会期：2013 年 1 月 12 日（土）～ 2013 年 4 月 7 日（日）
- ◆会場：東京国立博物館 本館特別 5 室（上野公園）
- ◆開館時間：9:30～17:00(入館は閉館の 30 分前まで)
(ただし、3・4 月の金曜日は 20:00 まで、4 月 6 日（土）、7 日（日）は 18:00 まで)
- ◆休館日：月曜日（ただし 1 月 14 日（月・祝）、2 月 11 日（月・祝）は開館、1 月 15 日（火）、2 月 12 日（火）は休館）
- ◆主催：東京国立博物館、千光寺、読売新聞社、NHK、NHK プロモーション
- ◆特別協力：高山市、高山市教育委員会
- ◆後援：岐阜県

日中国交正常化 40 周年 東京国立博物館 140 周年

特別展「書聖 王羲之」

平成館 特別展示室

- ◆主催：東京国立博物館、毎日新聞社、NHK、NHK プロモーション
- ◆特別協力：朝日新聞社
- ◆後援：外務省
- ◆会期：2013 年 1 月 22 日（火）～ 3 月 3 日（日）
- ◆会場：東京国立博物館 平成館（上野公園）
- ◆開館時間：9:30～17:00(入館は閉館の 30 分前まで)
(ただし、3 月 1 日（金）は 20:00 まで開館）
- ◆休館日：月曜日 ※ただし 2 月 11 日（月・祝）は開館、翌 12 日（火）は休館

特別展 エル・グレコ展 El Greco's Visual Poetics

- ◆主催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社
- ◆後援：外務省、スペイン大使館
- ◆会期：2013 年 1 月 19 日（土）～ 4 月 7 日（日）
- ◆会場：東京都美術館 企画展示室（東京都台東区上野公園 8-36）
- ◆開室時間：9:30～17:30（金曜は 20:00）入室は閉室

30 分前まで

閉室日月曜日（ただし 2 月 11 日は開室、12 日は閉室）

会員の移動

◆平成 24 年度第五回理事会承認 2012.11.17

新入会 正会員 3 名（内外国人 2 名）

林 孝一

Chen Chien-Hsun

Daceop Kim

学生会員 5 名（内外国人 3 名）

木谷 篤

向井 志緒子

由 振偉

邱 淑萍

鄭 如娟

◆平成 24 年度第六回理事会承認 2012.12.15

新入会 正会員 5 名（内外国人 2 名）

住吉 智子

津坂 真有

溝川 誠司

Bomi Kim

Sonya S.Kwak

学生会員 2 名

倉前 信江

敷田 弘子

退会

正会員 2 名

出村 洋二

中西 啓